

平成 30 年度 合板・製材・集成材国際競争力強化対策の
うち木材製品の消費拡大対策のうち CLT 建築実証支援事業

「C L T 晴海プロジェクトにおける広報・普及活動」

事 業 報 告 書

令和 2 年 3 月 20 日

一般社団法人 日本 C L T 協会

目次

- 1、事業の背景および目的について
 - 1) 事業の背景
 - 2) 事業の目的
 - 3) 委員会の設立
- 2、CLT PARK HARUMI 概要
 - 1) 建設規模
 - 2) 移設及び端材利用
- 3、CLOSING FOREST 概要
 - 1) 出展の基本コンセプト
 - 2) ブース内容検討
 - ①CLT ブースの設計
 - ②ブース内展示物の選定
 - ③動画の製作
 - ④CLT 認知度アンケートの実施
 - ⑤その他ブース内のしつらえ
 - 3) 竣工記念内覧会開催
- 4、都内 CLT 建築物見学ツアー及びセミナーの開催
 - 1) 都内 CLT 見学ツアー
 - 2) CLT セミナーの開催
- 5、出展効果
 - 1) 入場者数
 - 2) アンケート集計
 - 3) コスト概要
- 6、おわりに

1、事業の背景および目的について

1) 事業の背景

三菱地所が事業主となり、東京都中央区晴海に、隈研吾建築都市設計事務所によるデザイン監修のもと、CLT材を活用した施設を建築する「CLT 晴海プロジェクト」この建物は、2019 年秋から 2020 年秋までの 1 年間、運用を予定している。また、晴海での運用後は、岡山県真庭市の国立公園蒜山に移設される計画であり、首都圏初の CLT リユース計画である。



2) 事業の目的

首都圏においては、CLT を実際に体験できる建物が無く、以前より建設の要望は高かった。CLT の活用を目指す一つの領域である中層建築物は、首都圏において、大量の新築及び建替えの需要がある。この地域で、建物の計画実務に携わる、多くの「デベロッパー」、「投資家」、「異種工法の建築士」等に CLT の実物を「見て」、「触る」機会が与え新たな建築材料としての CLT の認知が行われれば利用の発想と需要開拓の糸口が生まれる。当協会としては、CLT の広報・普及に、大きな効果を生み出すまたとない機会と捉えており、本プロジェクトに参画した。

3) 委員会の設立

「CLT 晴海プロジェクト」における広報・普及活動に関する実行委員会

委員長 早稲田大学理工学総合研究センター・桜設計集団一級建築士事務所

安井 昇

委員 NPO 法人 team Timberize 腰原 幹雄、内海 彩、山田 敏博

高知県 金子 尚公

真庭市 實原 將治 池田 洋之

三菱地所(株) 伊藤 康敬、河野 義浩、重田 翔平

(有)エヴリマンジャック 毛塚 伸一

行政 林野庁 猪島 明久、福島 純、武井 量宏

国土交通省 恵崎 孝之、一重 喬一郎

環境省 市川 善浩

内閣官房 藤本 達之

日本CLT協会 坂部 芳平、河合 誠、西妻 博康、小玉 陽史

2、CLT PARK HARUMI 概要

1) 建物規模

所在地 東京都中央区晴海 3 丁目 2 番 15 号

(移築後) 岡山県真庭市蒜山地区内

事業主 三菱地所株式会社

敷地面積 3,368.88 m²

設計監理 株式会社三菱地所設計

デザイン監修 隈研吾建築都市設計事務所

施工 三菱地所ホーム株式会社

建物用途 展示施設

建物規模 パビリオン棟：地上 1 階建、
屋内展示棟：地上 2 階建、展示別棟：地上 1 階建

建物構造 木 (CLT) 造、鉄骨造

CLT 利用量 施設全体で約 680 m³(国産ヒノキ材・スギ材)



2) 移設及び端材利用

本施設の晴海での運用後は、部材をリユースし、CLT 材の生産地である岡山県真庭市の国立公園蒜山 (ひるぜん) に移築する予定。移築後は、観光及び芸術・文化発信拠点として利用される計画で、隈研吾氏によるデザインを活かした、蒜山高原一帯の新たなランドマークとして生まれ変わります。さらには、工事段階で発生した CLT の端材を施設内で使用する部材や家具に転用するなど、サステイナブルなものづくりを進めています。



晴海に展示後は蒜山高原に移転



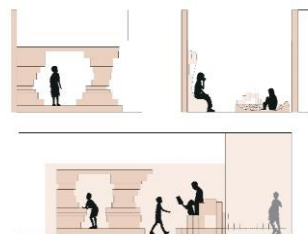
端材を家具などに使用

3、CLOSING FOREST 概要

「CLT PARK HARUMI」、展示館Bに常設CLT展示ブースを出展した。

1) 出展の基本コンセプト

CROSSING FOREST は国産木材の CLT でつくられています。アニメや最新の木造建築の動画を見たり、木の玉プールや木のおもちゃで遊んだり、森にまつわる本を読んだり、木に包まれて様々な過ごし方ができる空間とする。

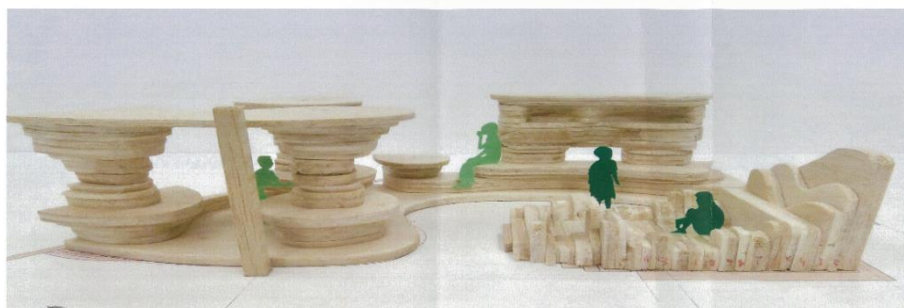


名前の由来：Crossing forest は（交差する森、森の交差点）の意味で、CLT の（CROSS）と、FOREST（森林）と都市でつながっていくきっかけとなるよう命名した。

2) ブース内容検討

① CLT ブースの設計

CROSSING FOREST はさまざまな厚みと形の CLT が地層のように積み上げられて、包み込まれるような印象的な空間になっている。すべてのパーツが手で持てる大きさと重さになっており組み立て式の設計になっているので、素早い設営と解体が可能。また、別の場所に移設して再利用可能なシステムになっている。



CLT 晴海・
CLT 協会展示スペース計画

② ブース内及び隣接カフェへの展示物の選定

子供たちが楽しむ施設の中に、CLT をはじめとした木材を使ったベンチ・テーブル・おもちゃ等を提供し、実際に触れていただくことで、一般の方に木材に親しみを持っていただくほか、木材産地のPRを行うため設置。

《木製おもちゃ》

- ・木のボール
- ・積み木
- ・乗り物
- ・おもちゃ

《ベンチ・家具等》



③動画の制作

(1) 動画を3種類制作する

- 1 林業からCLTの製造、建築までの流れがわかる動画
(イラスト。アニメーション)
- 2 CLT建築の紹介、CLTの定点観測をまとめた動画
- 3 隈研吾さんのインタビュー

(2) 製作のコンセプト

大きなモニターを設置せず、iPadなどのタブレット端末を10個ほど置いて点在させる。

- 1 狭いスペースなので全員が同じモニターを見るより、それぞれ好きな場所で好きな方向を向いて座れるほうが良い。(自由なスタイルの演出)
- 2 タブレットであれば、それぞれのタイミングで映像を見る事が出来る。
(待たなくていい)
- 3 コンテンツを選んで見る事が出来る(興味のあるものだけ見れる)

(3) 完成した動画

- 1 木の精のぼうけん(アニメーション)
- 2 CLTのけんちく(アニメーションとCLT建築物の紹介)
- 3 隈研吾さんのインタビュー

④CLT認知度アンケートの実施

- (1) ブースに設置されるタブレット端末を用いたアンケート実施する
- (2) 動画選択画面にアイコンを表示する。
- (3) 回答者にノベルティーを配布する。

(4) アンケート内容

- 1 CLT を知っていましたか？（CLT の認知度）
- 2 展示物の中で気に入ったものは何ですか？（展示物の感想）
- 3 街に木造建築が増えると良いと思いますか？（木材利用の意向）
- 4 それは何故ですか？（木材利用の意向）

＊5、アンケート集計にて結果及び意見を表示。

⑤その他ブース内のしつらえ

(1) 説明スタッフ

協会関係者（説明者・技術者）を適時配置しお客様対応する。また、女性スタッフを常駐配置する。お客様からの質問や相談にも対応する。（スタッフ勉強会実施）

(2) パンフ・チラシ・ポスター

解りやすく目をひく CLT 晴海プロジェクト用に新規作成。プロジェクトの構想に合わせた内容とする。（交通広告や郵便局広告に活用。）

(3) 設備・部品

机・椅子・ベンチ・大型テレビなどレンタル。

3) 竣工記念内覧会開催

令和 2 年 12 月 5 日（木）24 名のご来賓を迎え、CROSSING FOREST の竣工記念内覧会を開催した。2017 ミス日本みどりの女神、CLT 広報大使の野中葵様の司会のもと、式は主催者側から三菱地所㈱西貝昇執行役員の挨拶のあと、デザイン監修者の隈研吾氏から CLT PARK HARUMI についてご説明及び CLT の紹介が行われた。続いて、ご来賓として内閣官房副長官岡田直樹様、CLT で地方創生を実現する議員連盟会長石破茂様、CLT で地方創生を実現する首長連合共同代表太田昇様よりご祝辞をいただいた。其の後、CROSSING FOREST のオープニング（除幕式）及び「CLT のけんちく」動画が放映され最後に日本 CLT 協会会長中島浩一郎より閉会の挨拶があり終了した。一般公開は 12 月 14 日からとなった。



4、都内 CLT 建築物見学ツアー及びセミナーの開催

CLT の普及促進・木材活用を議題とした建物見学会、セミナーを実施し、CLT 活用への理解醸成とアピールを行った。

(1) CLT セミナーの実施

日時 令和 2 年 2 月 18 日 (火) 12 : 00～14 : 00

場所 ホテルマリナーズコート東京

参加 事前申込者数 205 名

当日参加者数 148 名

主催 CLT で地方創生を実現する首長連合

講演 ①ヨーロッパの CLT 最新事情 12:10～13:15

日本 CLT 協会 代表理事 中島浩一郎

②新しい木の建築 12:45～13:15

MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO 原田真宏

③環境変換装置としての木造 13:20～13:50

武松幸治+E.P.A 環境変換装置建築研究所 武松幸治

(2)

アンケート集計結果

■回答総数： 376件

1. 「CLT」を知っていましたか？

はい or いいえ

- ・ はい 125名 33.00%
- ・ いいえ 251名 67.00%

2. CROSSING FOREST の中で気に入ったものは何ですか？いくつでも結構です。

- ・ CLT のインテリア 176名 47.00%
- ・ 動画 28名 7.00%
- ・ おもちゃ 186名 49.00%
- ・ 木の玉プール 118名 31.00%
- ・ 本 24名 6.00%

3. 街に木造建築が増えると良いと思いますか？それはなぜですか？理由をお書きください。

はい or いいえ：理由の記入欄があります

- ・ はい 352名 94.00%
- ・ いいえ 24名 6.00%

4. 最後に、あなたのプロフィールをお教えてください。

年齢

- ・ 6~12 歳 59名 15.69%
- ・ 13~19 歳 6名 1.60%
- ・ 20~34 歳 100名 26.60%
- ・ 35~49 歳 177名 47.07%
- ・ 50 歳以上 33名 8.78%

性別

- ・ 男性 151名 40.16%
- ・ 女性 220名 58.51%
- ・ その他 0名 0%
- ・ 回答しない 4名 1.06%

○質問3の記載コメント

・「はい」と答えた方

無機質なコンクリートなどよりも木造のほうが気分が落ち着くし香りも楽しめる	13~19 歳	男性
人間回帰できる場所が増える、単純に居心地よい	20~34 歳	男性
サステイナブルな世の中に合致しているから	20~34 歳	男性
木造建築に温かみを感じるため	20~34 歳	男性
自然の温もりを感じられて、生活に癒しがもたらされるから	20~34 歳	男性
街がオシャレかつ暖かい雰囲気になり、香りも良さそうだから	20~34 歳	女性
鉄骨鉄筋の建物が多くなる中で自然の環境から成り立つ木材での建築物の良さをこれからの子たちに知ってもらいたいから	35~49 歳	男性

・キーワード（件）

温かい・温もり	7 5
臭い・香り	3 8
自然	3 7
優しい	2 6
環境	2 1
良い	1 4
落ち着く	1 2
心地よい	1 0
国産材	2

・「いいえ」と答えた方

維持費問題	20~34 歳	—
火事に弱そうだから	20~34 歳	男性
木は限りある資源だから	20~34 歳	女性
特に良いとは思わない	20~34 歳	女性
資源がもったいないかな？	20~34 歳	女性
火に弱そうだから	20~34 歳	男性
木造の良さがまだよくわからないから	20~34 歳	女性
火災	20~34 歳	女性
災害	35~49 歳	女性
火事が怖い	35~49 歳	女性
温もりが感じられたり、林業が復興したり、木造のよさは多々あると思いますが、消費者としてはやはり手入れや火事の心配が気になります	35~49 歳	女性
火災が起きたら心配だから	35~49 歳	女性
防火の面が、少し気になるため	35~49 歳	女性
火事の時心配	35~49 歳	男性
震災の時に火災が心配	35~49 歳	女性
木を使って欲しく無い。温暖化が心配	6~12 歳	—
木は折れやすいから	6~12 歳	男性

CLT PARK HARUMI のオープン記念として、CLT を始めとした木質
建材の魅力や、大規模木造建築の可能性を感じていただくセミナーと見学会を

開催した。



アンケート集計結果

資料 3-3

■回答総数： 376件

1. 「FLT」を知っていましたか？

はい or いいえ
・ はい 125名 33.00%
・ いいえ 251名 67.00%

2. GROSSING FORESTの中で気に入ったものは何ですか？いくつかいつでも結構です。

・ FLTのインテリア 176名 47.00%
・ 動画 28名 7.00%
・ おもちゃ 186名 49.00%
・ 木の玉ブール 116名 31.00%
・ 本 24名 6.00%

3. 街に木造建築が増えるといいと思いますか？それはいくつでも理由をお書きください。

はい or いいえ 理由の記入欄があります
・ はい 352名 94.00%
・ いいえ 24名 6.00%

4. 最後に、あなたのプロフィールをお教えください。

年

性

住

付

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

○質問3の記載コメント

・「はい」と答えた方

無機質なコンクリートなどよりも木造のほうが気分が落ち着くし暮らしやすい	13~19歳	男性
も楽しめる		
人間関係でできる場所が増える、車検に安心地よい	20~34歳	男性
サステイナブルな世の中へ貢献しているから	20~34歳	男性
木造建築に温かみを感じるため	20~34歳	男性
自然のぬもりを感じられて、生活に癒しをもたらされるから	20~34歳	男性
街がオシャレかつ広かい雰囲気になり、暮らしも良さそうだから	20~34歳	女性
森や緑の建物が多くなる中で自然の環境から取り立つ木材での建築	35~49歳	男性

・キーワード（押）

温かい・温もり	70
ぬい・寄り	38
自然	37
優しい	26
環境	21
涼しい	14
赤ら着く	12
心地よい	10
国産材	2

・「いいえ」と答えた方

極端に寒いから	20~34歳	—
火事に困るから	20~34歳	男性
木は限りある資源だから	20~34歳	女性
特に良いとは思わない	20~34歳	女性
資源がもたないかな？	20~34歳	女性
火に弱そうだから	20~34歳	男性
木造の臭いがまだよくわからないから	20~34歳	女性
火災	20~34歳	女性
災害	35~49歳	女性
火事が怖い	35~49歳	女性
温もりが感じられず、林業が盛衰したり、木造のよさは多々あると思いがちだが、災害としてやはり木造の心配が気になる	35~49歳	女性
火災が起きたら心配だから	35~49歳	女性
防火の害が、少し気になるため	35~49歳	女性
火事の心配	35~49歳	男性
震災の時に火災が心配	35~49歳	女性
木を燃やして熱く暑い。温暖化が心配	6~12歳	—
木は燃れやすいから	6~12歳	男性





